

1935-1938

3

Roosevelt Praises
Finland on Taking
Care of U. S. Debt

フィンランドの債務返済 *

これ以降、すべての介入判定に +1 を追加します。

平和期間中のみイベントとして宣言できます。

第一次世界大戦後、フィンランドは世界恐慌のさなかに唯一、米国への負債を全額返済した国でした。これは好意を持って迎えられました。

1

1935-1938

3



フィンランドオリンピックの成功 *

次の介入判定に +3 を追加します。

平和期間中のみイベントとして宣言できます。

フィンランドは第二次世界大戦前にスポーツで自覚ましい成功を収め、1940年のオリンピックではヘルシンキが開催地として選出されました。

2

1935-1938

2



市民警備隊の訓練

1戦力の歩兵ユニットを1つ追加し、別の歩兵ユニットの戦力を1増やします。

自発的な市民警備隊組織による軍事訓練は、既存の軍事力を大幅に補完するものでした。

3

1935-1938

3



農業社会主義者の協力 *

1戦力の歩兵ユニット1個と1戦力のスキューユニット1個を追加します。

平和期間中のみイベントとして宣言できます。

1918年の内戦は政界の深い対立を招きました。1937年から始まったブルジョワ農業同盟と左派の社会民主党との政策協力はその溝を若干緩和しました。

4

1935-1938

2



ロッタ・スヴェルドの支援

歩兵ユニット2個の戦力を1増やし、歩兵ユニット1個を移動させます。

女性志願者による準軍事組織であるロッタ・スヴェルドは、正規軍に物資を供給しました。

5

1935-1938

1



フィンランド・エストニア間の軍事協力

1戦力の歩兵ユニットを1個追加し、歩兵ユニット1個を移動します。

平和期間中のみイベントとして宣言できます。

ソ連がエストニアを占領するまで、フィンランドとエストニアは秘密裏にフィンランド湾の防衛に協力しました。

6

1935-1938

2



スターリンの大粛清 *

フィンランドプレイヤーはこのカードをイベントとして宣言したら自分の前に置いておきます。その後ソ連軍が攻撃側の時に使用し、フィンランド軍の防御判定に+1を加える事ができます。そしてサイコロを1つ振り、1~3はカードをゲームから除外します。4~6ならその後再使用できます。

平和期間中のみイベントとして宣言できます。

1930年代末にスターリンは赤軍の熟練尉校の多くを処刑しました。このため戦争後半、稚拙な対空軍による損害が増大しました。

7

1935-1938

2



基本取得プログラム *

マンネルヘイム・ラインの準備レベルを1つ上げ、1戦力の歩兵ユニットを1つ追加します。

平和期間中のみイベントとして宣言できます。

1930年代、フィンランドは買収と要塞化により時代遅れの防衛態勢の改善を試みました。数点の改善が成されたものの成果は不十分でした。

8

1939

3



カレリア地峡要塞 *

マンネルヘイム・ラインの準備レベルを1上げ、カレリア地峡に1戦力の歩兵ユニットを1つ追加します。

平和期間中のみイベントとして宣言できます。

緊張が高まる中、フィンランドは志願者を募ってカレリア地峡の強化を開始しました。

9

1939 **3**



追加の更新訓練 *

2戦力の歩兵ユニットを2つ追加します。
平和期間中のみイベントとして宣言できます。

緊張が高まる中でフィンランドは軍事動員の直接表現を避け、「追加の更新訓練」と呼称しました。

10

1939 **3**



供給省の設立 *

2戦力の歩兵ユニット1個と1戦力のスキーユニット1個を追加します。
平和期間中のみイベントとして宣言できます。

第二次世界大戦が始まるとフィンランドは資源の軍事転用のため、最初は食糧、そして後に総ての消耗品を配給制としました。

11

1939 **3**



マイニラの砲撃

介入マーカーを右に1ボックス移動します。
平和期間中のみイベントとして宣言できます。

ソビエト連邦はフィンランドがマイニラの村を砲撃したと主張する偽旗作戦を考案しました。国際的世論はこれらをソ連の捏造と判断しました。

12

1939 **1**



軍事検閲と情報

2つの歩兵ユニットの戦力を1増やします。

戦争の脅威の拡大により、10月に検閲と軍事情報の周知を目的とした政府機関が設立されました。(当初は政府情報センター)

13

DECEMBER **3**



国際連盟のソビエト連邦追放 *

次の介入判定に+3を加えます。
12月のみイベントとして宣言可能。

ソ連は広く侵略国と見なされていたため、国際連盟から追放されました。

14

DECEMBER **2**



援護部隊

ソビエトボックスに隣接する1つのフィンランドボックス内のすべてのユニットを活性化します。これらのユニットは攻撃判定に+1を得ます。

主な防御線が準備されている間、国境に敵を遅らせるために援護部隊が配備されました。

15

DECEMBER **1**



外国人ジャーナリスト

次の介入判定に+2を加えます。

欧州の戦争はまだ激化しておらず、冬戦争は多くのメディアの注目を集めました。

16

DECEMBER **1**



前線のクリスマス *

1つのボックス内のすべてのユニットを活性化します。これらのユニットは、このターンの攻撃判定に+1を得ます。
12月のみイベントとして宣言可能。

クリスマスには、多数の贈り物が前線に送られ、多くの特別なイベントが開催されました。

17

JANUARY **2**



パーヴォ・ヌルミ、米国へ行く

「フィンランドオリンピックの成功」がイベントとして宣言された場合にのみイベントとして宣言できます。
次の介入判定に+2を加えます。

オリンピックで多くの金メダルを手に入れたパーヴォ・ヌルミはアメリカでも大人気で、戦時中の大規模ツアーで多くの同情と資金を獲得しました。

18

JANUARY **2**



1月の婚約 *

「**農業社会主義共同体**」をイベントとして宣言した場合のみ、イベントとして宣言できます。

このカードを自分の前のテーブルに置きます。ソ連軍プレイヤーが攻撃するとき可以使用です。戦闘前に防御中の歩兵ユニット1つの戦力を1増加させ、防御判定に+2を加えます。その後、このカードをゲームから除外します。

フィンランド産業協会は労働組合を団体交渉の当事者として初めて認め、これにより共同体意識がさらに高まりました。

19

JANUARY **2**



フィンランドの冬

3戦力の歩兵ユニット2つを前線よりも後方のいずれかのボックスに配置します。

ユニットを除去しない範囲で、ソビエト歩兵ユニット3個の戦力を1ずつ減少させます。

1939年から1940年の冬は非常に厳しく、気温はマイナス40度まで下がりました。ソ連軍は併せて装備が不十分でした。

20

JANUARY **2**



モッティ(浸透戦術)

ラドガカレリアまたはスオムッサルミ戦線でスキーユニットを活性化します。そのユニットは最前線を越えてさらに1つ奥のボックスに浸透します。スキーユニットが最前線の背後に残っている限り、最前線で包囲されたソ連ユニットを活性化するには2アクションポイントを消費します。また月末(ターン終了時)に包囲されているソ連軍ユニットのどれか1個から1戦力を減少させます。

カレリア地峡以外の戦線は通過可能な道路網が非常にまばらであったため、フィンランド軍はソ連軍を何度も包囲可能でした。

21

FEBRUARY **2**



モロトフカクテル

このカードを自分の前のテーブルに置きます。ソ連軍プレイヤーが少なくとも1つの装甲ユニットで攻撃する場合に使用でき、防御判定に+2を加えます。その後、このカードを捨て札の山に置きます。

フィンランドには対戦車兵器がほとんどありませんでした。火炎瓶は特に成功を収め、当時のソ連の外相にちなんだ名が付けられました。

22

FEBRUARY **3**



コッラー防衛線

ラドガカレリア戦線の2つの歩兵ユニットの戦力を1増やします。

ラドガカレリアのコッラー川では常に激戦が繰り返され、双方が大損害を被りました。しかし戦争終結までフィンランド側が防衛線を維持しました。

23

FEBRUARY **2**



民間爆撃

次の介入判定に+2を加えます。

ソビエト連邦はフィンランドの複数の町を爆撃し、民間人に多数の犠牲をもたらしたため、国際的な批判を浴びました。

24

MARCH **2**



諸外国による援助

2つの歩兵ユニットの戦力を1増やし、1つの歩兵ユニットを移動させます。

フィンランドは国際的に多くの支持を受け、中立にもかかわらず多くの国が援助を送りました。そのほとんどは戦争の後半に到着しました。

25

MARCH **1**



ヴィボルグ湾の氷上攻撃と沿岸砲兵隊の防御

カレリア地峡において歩兵1ユニットの戦力を1増やし、同じソビエト歩兵1ユニットの戦力を1減らす。

厳冬はヴィボルグ湾を凍らせ、戦車による氷上攻撃を可能としました。沿岸部隊の要塞砲はその阻止に大きな役割を果たしました。

26

MARCH **1**



戦略的再配置

最前線以外の任意のボックスから、別の戦線の最前線ではないボックスに1ユニットを移動します。

輸送力の不足は戦線から戦線への大規模な移動の障害となりました。しかし適切な準備をすればそれは可能でした。

27

MARCH

2



自軍戦線の支援

最前線のユニット1つの戦力を1上げる。

戦争経済の維持のために、今まで以上に多くの女性が産業や食料生産に従事しました。前線部隊に対する自発的な物資支援も豊富でした。